



検索の妙手としてのウィキペディアの利用をしてみると、かなりの奥深さがあることに気付く。今回は、今一步踏み込んだウィキペディア活用をするための重要なキーワードとしての「一覧」に注目した一味違うウェブ検索方法を紹介してみたい。職員録や人名録としても利用でき、有名人の出身校や出身地別も、簡単に調べられる。

第四話 ウィキペディアで重要なキーワード「一覧」

ウィキペディアを利用する上で、重要なキーワードがいくつかある。その一つが前回紹介した、「Category」というキーワードである。たとえば、グーグルで {Category 日本関連一覧 site:wikipedia.org } とサイト内検索をすれば、日本における多方面にわたる一覧リストが入手できる。読者には、是非、試していただきたい。

今回紹介する重要なキーワードは、「一覧」というキーワードである。利用法は、超簡単である。調べたいキーワード XXX について、グーグルの検索窓口で、{XXX、一覧 site:wikipedia.org } と、入力し検索するのである。

日本の国技である「相撲」について調べてみよう。{相撲 一覧 site:wikipedia.org } と検索すると、「大相撲力士一覧」、「大相撲優勝力士一覧」、「世界の相撲一覧」、「相撲用語一覧」、「大相撲の決まり手一覧」、「大相撲出身のプロレスラー一覧」、「大相撲隠語一覧」、「格闘技の一覧」…、などの項目が、検索される。

この検索によって、大相撲で優勝した力士の名前や、相撲の決まり手である 82 手、プロレスに転進し活躍した元力士の名前、相撲に似た世界の格闘技の一覧について、簡単に入手することができる。

さらに、優勝力士の名前だけでなく、横綱、大関、関脇、小結といった役力士を務めた現役と引退した力士の名前リストも、簡単に入手できる。力士の名前がわかれば、その経歴や活躍内容は、ウィキペディアもしくは他のウェブサイトで、更に調べればよい。

相撲の代わりに、他のスポーツ競技の名称を書いて検索すれば、精粗に違いはあるが、同様の検索結果を得ることが出来る。「オリンピック」、「野球」、「サッカー」、「フィギアスケート」、「ゴルフ」、…などなど。

また、国王や国家元首についても同様に調べられる。{国王 一覧 site:wikipedia.org } とグーグルで検索すると、古代から現在までの各国の歴代王朝や歴代国王の名前を入手できる。「国王」を、「元首」、「君主」、「大統領」、「首相」と置き換えて検索すれば、君主制だけでなく共和制も含めた国家の歴代最高責任者の名前のリストを入手できる。

たとえば、神聖ローマ帝国をはじめとするヨーロッパ各国の国王だけでなく、中国、ベトナム、

朝鮮、琉球といったアジア各国の国王、レソトやスワジランドといったアフリカ諸国の国王、太平洋のハワイの国王まで、歴代国王の名前を入手できる。

では、ウィキペディアは、どのような「一覧」を用意しているであろうか。その全体像を知るには、ウィキペディアで「一覧の一覧」、「一覧記事」という項目を調べてみれば、その全体像を簡単に知ることが出来る。

「一覧の一覧」の項目をみると、人名、社会、国家、政治、…、災害、趣味、フィクションといった30の大項目があり、その大項目の下に中項目、さらに小項目が用意されているという具合である。

「一覧の一覧」の下には、「YYYY 一覧の一覧」という項目が、用意されている。ちなみに、その一部を紹介すると、「情報・通信・コンピューター一覧の一覧」、「スポーツ選手一覧の一覧」、「日本の資格に関する一覧の一覧」、「出身別の人名記事一覧の一覧」、「情報・通信・コンピューター一覧の一覧」、「地理関係一覧の一覧」、「文化財一覧の一覧」…などが続いている。

コンピュータやネットワークについての一覧を知りたい人は、「情報・通信・コンピューター一覧の一覧」の項目を見てもらえれば、どのような一覧が掲載されているかを知ることができる。

その一部を紹介すると、「コンピュータ用語一覧」、「コンピュータ略語一覧」、「コンピュータに関する人物一覧」、「コンピュータのカテゴリ一覧」、「パーソナルコンピュータ製品一覧」などなど、サブ項目があることがわかる。

「コンピュータに関する人物一覧」の項目を見てみると、あいうえお順に、ケネス・アイバーソン、ビル・アトキンソン、ジーン・アムダール、マーク・アンドリーセン、池田敏雄、…といった人物の名称が記載されており、その人物名をクリックすれば、その人物の詳しい内容が紹介されている。

最後に、この「一覧」を利用すると、意外な事柄についての情報が入手できる。たとえば、{神一覧 site:wikipedia.org}と検索してみる。「神の一覧」、「日本の神の一覧」、「ギリシア神話の固有名詞一覧」、「比喩としての『神様』『神』一覧」といった項目が見つかる。「神の一覧」では、世界の国、民族、神話に関する神々の名前が入手できる。

面白いのは、「比喩としての『神様』『神』一覧」である。この一覧にリストアップされた有名人をみると、聖徳太子(大工の神様)、菅原道真(学問の神様)、小野道風(書道の神様)に始まり、坂東三津五郎(踊りの神様)、平塚八兵衛(捜査の神様)、川上哲治(打撃の神様)、岡村信康(フォークソングの神様)といった具合である。各分野で最高級のプロとして活躍した古今東西の著名人が紹介されている。

以上、「一覧」というキーワードを利用した例を紹介してきた。世間の人が、一番良く利用する例は、職員録や人名録としての利用であろう。政治家、学者、企業家、俳優、作家、宗教指導者といった人達について、出身校や出身地別で調べることができる。

また、学校(大学から小学校まで)、私企業、官公庁、TV局、宗教法人、博物館・美術館まで、数多くの組織体の一覧も簡単に入手できる。さらに、宇宙(天体・惑星...)、生物(動物・植物・微生物・ペット...)、世界の言語・民族、世界的な遺産(文化遺産、自然遺産、産業遺産...)まで、非常に多方面なリストが、簡単に入手できる。

以上の情報は、ウィキペディア以外のウェブサイトでも調べられる。必要に応じて、他のウェブサイトも調べなければならない場合も、実際には少なくない。

しかし、ウィキペディアは、ここで紹介した簡単な検索法で調べられることと、検索される資料が比較的均質であり、一定の信頼性が保証されているのである。次回も、ウィキペディアの便利な利用法について、紹介することにした。